

ノリ海況速報 第14報 (2022-14)

令和5年4月27日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 ノリ海況調査 4/4 内房 (ふさみ丸), 4/5 内湾 (ふさなみ)

【 水温・塩分の状況 】

- 表層水温は内湾北部が14.9~15.2℃, 盤洲周辺が14.7~15.1℃, 富津周辺が14.8~14.9℃でした。表層塩分は内湾北部が27.7~29.7, 盤洲周辺が30.8~31.7, 富津周辺が31.0~32.5でした。
- 内湾のノリ漁場への沖合水(高水温高塩分)の波及はみられませんでした(図1, 2)。

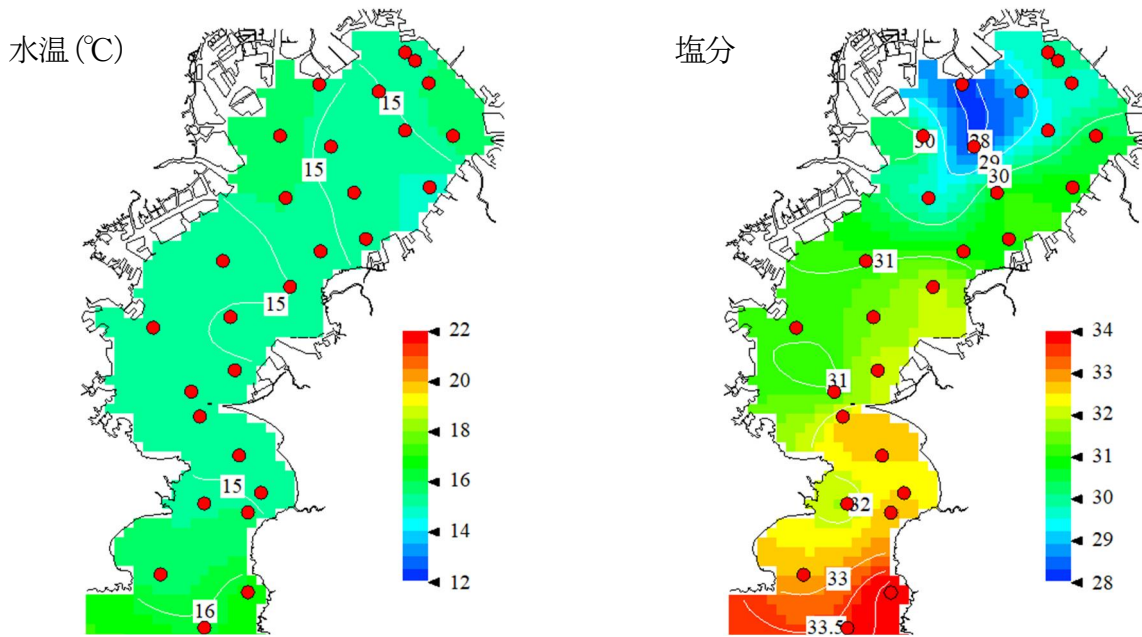


図1 表層の水温・塩分

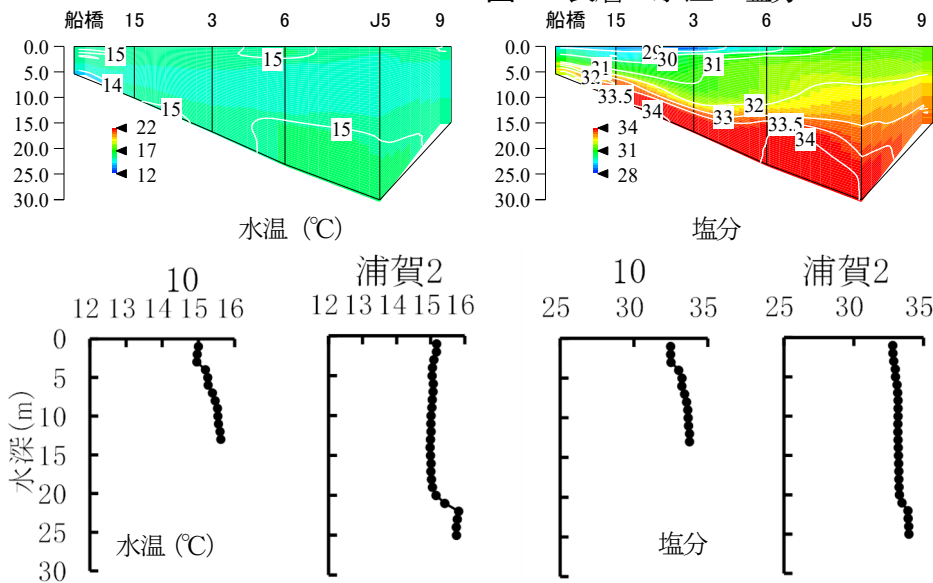


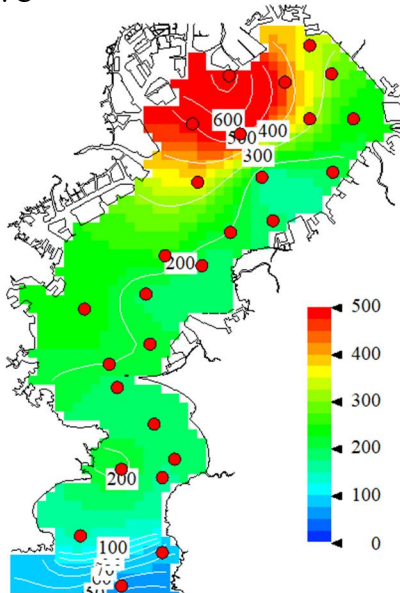
図2 縦断面の水温・塩分の鉛直分布
 上：内湾, 下：内房北部, 右：調査ライン

【 赤潮・栄養塩の状況 】

- ・ 内湾の全域で、前回より珪藻が増加していました。透明度は2.0～4.0 m でした。
- ・ プランクトンの優占種は、珪藻タラシオネマ属、ユーカンピア属などでした。
- ・ ノリ漁場付近の栄養塩は、窒素が内湾北部で276～773 $\mu\text{g/L}$ 、盤洲周辺で165～196 $\mu\text{g/L}$ 、富津周辺で162～200 $\mu\text{g/L}$ 、リンが内湾北部で5 $\mu\text{g/L}$ 以下～17 $\mu\text{g/L}$ 、盤洲周辺及び富津周辺で5 $\mu\text{g/L}$ 以下でした (図3)。
- ・ 東京湾ほぼ全域のノリ漁場でリンがノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベルを下回っていました。現在の優占種のひとつであるユーカンピア属は栄養塩濃度が低くても、増殖可能な種です。栄養塩の少ない状況が続く可能性がありますので、注意してください。

東京湾の赤潮の基準：酸素飽和度 150%以上，透明度 1.5 m 以下，pH8.5 以上		
高色調のノリの生産に必要なレベル：	窒素	110 $\mu\text{g/L}$ リン 8 $\mu\text{g/L}$
ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル：	窒素	90 $\mu\text{g/L}$ リン 5 $\mu\text{g/L}$

(DIN, $\mu\text{g/L}$)



(DIP, $\mu\text{g/L}$)

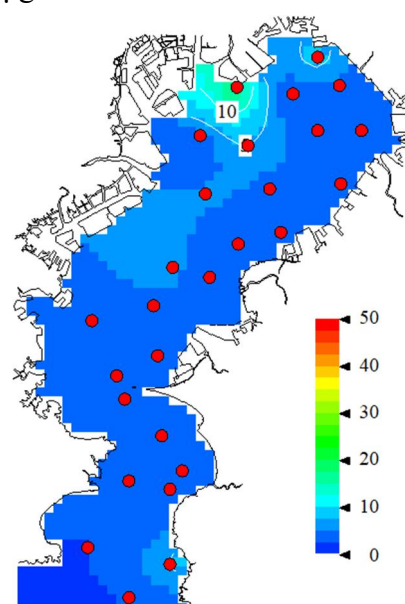


図3 表層の栄養塩濃度の分布

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場 (三番瀬、盤洲北部、盤洲南部、富津岬北、富津岬南) について、5日先まで表層水温を予報します。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。

東京湾漁業・環境情報提供システム

最新の東京湾の環境情報、赤潮発生の目安 (人工衛星画像)、各地の水温変化 (モニタリングポスト)、沖合水の侵入の目安 (潮位)、水温変化の目安 (表層水温、底層水温分布) などを表示しています。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。

パソコン：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html

